

日時：2018年7月31日（火） 11:40～12:00

質疑応答

Q：不採算案件とはどのようなものでしょうか。

A：前期にもありました海外鉄道案件の継続の他に、国内PJについても不採算がありました。いずれも本件は16年度以前の受注案件ですが、原因としては受注前の上流工程に起因したものでした。すでに体制強化などの再発防止策は実施しており、17年度以降の受注案件では大きな問題は起こっておりませんが、今回の反省も踏まえて、更にマネジメント体制の強化を図っていきます。

Q：ホテル向けが好調とのことですが、ホテル向けにどのようなビジネスを展開しているのでしょうか。

A：ホテルには電話設備やWi-Fiをはじめとした各種ネットワーク、客室の照明・室温をコントロールするルームマネジメントシステムなど、多種多様のICTシステムが稼働していますが、当社はそのSI、設置工事、保守などを手掛けています。

Q：企業ネットワークセグメントの収益改善要因である売上MIX改善とは具体的にはどのようなものでしょうか。

A：付加価値の低い機器販売のようなPJが減少し、当社の得意分野、特にネットワークに関わるSI工事などが増えてきていることや、比較的収益性の高いサービス型のプロジェクトが増加して、結果、原価率が大きく改善しています。

Q：サウジアラビアで新規に大型受注を獲得したようですが、本受注に至った経緯について教えてください。

A：当社グループは1981年よりサウジアラビアに参入し、数々の大型プロジェクトに携わり、累計の受注額は数百億円規模あります。今回はその実績と工事品質を評価されて受注に至りました。

Q：今回は一般企業向けの受注が好調のようですが、業種別に濃淡などはありますでしょうか。

A：ホテルなども含まれるサービス業向けが中心となりますが、他にも金融や製造など幅広い業種において前年同期比で増加しています。

Q：メガソーラー関連の将来展望についてはどのように考えていますでしょうか。

A：これから右肩上がり伸びて行くとは考えていませんが、2020年を境に急に無くなってしまふということも無いと考えています。